



# 地域に広がる 支え合いの かたち

あなたも支え合い活動に参加しませんか

人口減少や少子高齢化、そして社会的な孤立の広がりなどを背景にして、ますます地域での支え合いが求められる社会になってきました。地域で行われている支え合い活動には、自治会や地区社会福祉協議会などの住民組織が中心になるものや、自発的にボランティア始めたもの、NPO法人が行うものなど、様々なかたちがあります。

今号では、現在静岡市内で実施されている支え合い活動を紹介します。皆さんも身近な場所で行われている活動に参加してみませんか。

## 葵 区

### こころ落ち着く 子どもの居場所

#### ●ホッとホームでのひら葵区スペース

社会福祉法人「天心会」と一般社団法人「てのひら」の協同により、生活に困っている家庭の子どもの居場所「ホッとホームでのひら葵区スペース」が平成27年7月、葵区瀬名に開設されました。

駿河区で行っている「ホッとホームでのひら駿河区スペース」に、瀬名地域に住む子どもたちが多く参加している現状を受け、瀬名地域を拠点とする天心会の「社会福祉法人として、施設の周辺地域に住む方に貢献したい」という思いからスタートしました。

毎週木曜日に学生や地域のボランティアの協力を得ながら、11名の子どもたちが家庭的な雰囲気の中で食事やあそびを通じて、安心して過ごしています。「天心会」「てのひら」の思いである、「地域の子どもを地域で見守り、育てよう」という取り組みが広がり、多くの子どもたちが様々な大人からの愛情を受け、心豊かに成長してほしいと願っています。



●家庭ではインスタント食品を食べることが多い子どもも、「ホッとホームでのひら」では、季節行事を大切にしながら温かな家庭の味を楽しめます。  
ホッとホームでのひら葵区スペース(生活支援)／毎週木曜日18:00～20:30

## 駿河区

### 福祉車両は 住民の心強い味方

#### ●NPO法人丸子まちづくり協議会

学区エリアが広くバス停が遠いなど交通が不便な長田西学区では、住民調査の結果「外出が困難だと感じる」または「将来的に外出手段に不安がある」と回答された方が250名もいることわかりました。

この結果を受け「丸子まちづくり協議会」は福祉車両の導入に取り組み、平成26年4月、車いす専用の福祉車両「ちゃー丸号」の運行が始まりました。

現在、福祉車両は土日以外ほぼ毎日運行しています。利用者はほとんどが高齢者で、足が弱くバスに乗るのが難しい方などです。目的は通院のほか、買い物や墓参りなど様々です。運行を支えるボランティアは「利用者から『助かっているよ』の感謝の言葉をもらえるから続けられる。おしゃべりを楽しみにしている方もいて悩みなども話してくれる。心の癒しになれば。」と話します。地域のボランティアだからこそ、利用者と顔の見える安心感・信頼関係が生まれています。



※利用には、長田西自治会連合会の会員であることなどの条件があります。

## 清水区

### お弁当でつなぐ あたたかな地域

#### ●有度ひまわり会

清水区有度地区で活動するボランティアグループ「有度ひまわり会」では、毎月第2金曜日にからだの不自由な一人暮らし高齢者を対象とした手作り弁当の配達サービスを行っています。

現在のメンバーは25名。活動日には朝9時から有度生涯学習交流館に集まり、利用者約50名分のお弁当を作ります。出来上がったお弁当は、民生委員や地域の方々が見守りを兼ねて利用者宅に届けています。利用者からは、「心のこもったお弁当は本当にうれしい」、「寒い日でも、雨の日でも、おいしいお弁当を届けてくれてとてもありがたい」と、大変喜ばれています。

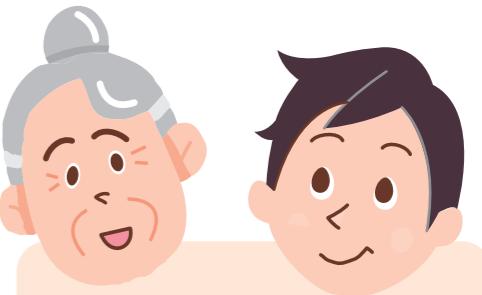
メンバーからは、「お弁当を作るのは楽しい」、「配ってくれる人がいればお弁当の数はもう少し増やせる」と、今後の活動に対する意欲の声が聞こえてきます。

活動をはじめて35年、地域の方々が互いに持ち味を活かし、今月もあたたかなお弁当とたくさんの笑顔を地域に届けています。



#### ■支え合い活動に関するお問い合わせはこちら

場 所	活動してみたい方	お悩みのある方
葵 区 葵区域東町24-1 静岡市城東保健福祉エリア内	054-249-3183	054-249-3210
駿河区 駿河区南八幡町25-21 静岡市南部生涯学習センター敷地内	054-280-6150	054-286-9550
清水区 清水区宮代町1-1 はーとぴあ清水内	054-371-0292	054-371-0305



地域社会で支援の必要な方々を支える活動を広げています

今回は、地域の中でNPO法人やボランティアグループ、社会福祉法人などが中心となって、地域住民などと連携協力して進めている支え合いの活動を紹介しました。

子どもたちへの生活支援、学習支援、高齢者や障がい者の食事や移動のお手伝いなど、その活動内容は幅広いものがあります。

しかし、地域社会には未だ解決されていない問題も数多く存在しており、支え合い活動の必要性は年々高まっています。

そのために静岡市社会福祉協議会では、地区社会福祉協議会やNPO法人、ボランティアグループなどとの連携を深めて、地域社会で支援の必要な子どもや障がい者、高齢者などを支えるための活動を広げていきますので、多くのボランティアや市民の皆さまの参加をお待ちしています。

# 静岡のボランティアネットワークのあゆみ

## ～静岡市ボランティア団体連絡協議会の発足から現在、そして今後～



静岡市にはボランティアグループなど135団体が加盟する静岡市ボランティア団体連絡協議会があり、団体間の連携と協働を深め、ボランティア活動の推進を図ることを目的に活動しています。現在では、なくてはならない存在となった静岡市ボランティア団体連絡協議会も、48年前に重い障がいの子どもたちのために集まったボランティアの運動が、その始まりとなっています。

今号では静岡市ボランティア団体連絡協議会の発足から現在までの歴史を振り返り、今後のボランティアのネットワークについて考えました。

### ■ボランティアネットワークの始まり

静岡市ボランティア団体連絡協議会の始まりは、48年前にさかのぼります。長い間社会的にかえりみられなかつた重症心身障がい児の問題について、「何かお手伝いをしましょう。」と集まってきた7グループ、50名のボランティアが、互いに交流し、力を合わせ、ボランティア活動を通して、心身障がい児の社会福祉の向上に寄与したいと願い、昭和42年に「静岡市心身障害児(者)のための奉仕活動連絡協議会」を発足しました。このことが今まで続いている、静岡市のボランティア活動のネットワーク組織の始まりでした。

また昭和46年には清水市(現在の清水区)において、青年ボランティアが中心になって、清水市青年奉仕活動連絡協議会が結成されました。



秋季研修会(昭和42年)

### ■研修、啓発、会館建設要望運動などの活動を実施

静岡市、清水市の連絡協議会は、発足当時から積極的にボランティア活動を社会に広げ、深めていくための活動を行ってきました。静岡市においては、ボランティア秋季研修会、ボランティア大会、リーダー研修会、機関紙の発行などでした。そして静岡ふれあい広場にも、第1回から参加してきました。また清水市においてもボランティアリーダー研修会やユニークダンスパーティ、ふれあいフェスティバルなどを実施し、ボランティアの交流や啓発に努めてきました。



南足柄市ボランティア協会(神奈川県)との情報交換会(平成27年)

さらにボランティアの活動推進機関や拠点設置への要望運動を進め、県ボランティア協会の設立、社会福祉社会館の建設や専任ボランティアコーディネーターの設置につなげてきました。

### ■現在に至るまで

発足当時は奉仕活動連絡協議会の名称であった団体も、ボランティア連絡会という名称に変更した後、静岡市と清水市の合併を機にそれぞれ地区ボランティア連絡会という名称になりました。その後、平成15年9月に統合した組織として静岡市ボランティア団体連絡協議会が発足しました。そして平成24年に由比地区ボランティア連絡会(平成10年発足)が加盟し、現在の静岡市ボランティア団体連絡協議会となりました。

現在は静岡地区59団体、清水地区62団体、由比地区14団体の全体で135団体が加盟して、それぞれの地区ボランティア連絡会の活動を尊重しつつ、啓発や研修などの事業に取り組んでいます。

※清水区蒲原地区ボランティア連絡会(平成8年発足)については、現段階では加盟していません。



現会長の東山嵩彦さんに伺いました



### 半世紀に近い歴史を重ねてきた 静岡市ボランティア団体連絡協議会の今後

#### ■現在の課題は?

ボランティア団体連絡協議会は、個人のボランティアやボランティアグループの裏方だと思います。長い間活動していくためには、会の活動を支えるスタッフが必要となります。次代を担うスタッフへの世代交代が課題です。これからは若い世代の参加は厳しくなっていくと思います。定年後の世代のボランティア参加を促していくたいですね。

#### ■ボランティアを増やすには?

ボランティアに参加する気持ちのある人は今後も増えてくると思います。その人に対するボランティアへの

参加のきっかけ作りが大切だと感じます。ふれあい広場や福祉のまつりなどの啓発事業で、仲間を増やしていくたいですね。

#### ■今後について一言お願いします

ボランティア活動は心の元気だと思います。周りの人からは「大変だね。」と言われますが、自分では助けられている感が強いですね。人のつながりを通して、ワイワイガヤガヤ楽しい時間を過ごしています。ボランティア団体連絡協議会も、楽しいボランティアのお手伝いを今後も進めていきたいと考えています。

最後に…

心身障がい児を支えるボランティアのネットワークとして始まった静岡市ボランティア団体連絡協議会の歴史は、先達の熱い思いや今までのボランティア連絡会、連絡協議会の役員の地道な活動によって、今日に至っています。

昭和50年に発行された静岡市奉仕活動連絡協議会の機関紙「しづおかのボランティア」の創刊号で代表(当時)の三重野隆志さんは「僕らのやっているそれぞれのボランティア活動が一人よがりの奉仕に終わらず、少しでも多くの人と共感を持ちボランティア活動を広めていきたいし、市民からの意見を吸収し誰でも参加できる運動にしていきたい。」と書いています。そのような思いが継続され、今後も静岡市ボランティア団体連絡協議会や社会福祉協議会などのネットワークにより、多くの市民がボランティアに参加されることを願っています。

#### 〈団体内容〉

加盟団体数  
135団体  
役員体制  
12名  
(会長1、副会長2、事務局長・会計1、事務局員6、監事2)



#### 〈行事事業〉

4月／会計監査・定期総会・歩こう会  
6月／研修会  
7月／役員会  
9月／ふれあい広場・福祉のまつりへの参加  
11月／役員会  
12月／街かどクリスマス  
1月／3市V連交流会(静岡市・焼津市・藤枝市)  
3月／役員会

#### 〈所属団体の分野や活動内容〉

- 学習支援 ●子育て支援
- 地域の居場所づくり
- 傾聴 ●高齢者・介護者
- 障がい(身体、視覚・点字、音認、聴覚・手話、精神)
- 音楽 ●遊び・ゲーム・レクリエーション
- パソコン
- 災害・防災 ●環境・自然 …など

#### ご連絡・お問い合わせ先

静岡市ボランティア団体連絡協議会・事務局

TEL/FAX 054-254-5201

静岡市葵区城内町1-1 静岡市中央福祉センター2階

E-mail: svdr@po2.across.or.jp

「みんなの社協しづおか」は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。



# 元気いきいき! シニアセンターが大活躍!!

元気いきいき!シニアセンター通信特別版

平成27年7月に開始されました「元気いきいき!シニアセンター事業」も平成27年の活動期間が終了し、活動ポイントの地場産品交換受付と平成28年のセンター活動が始まっています。この半年余の間には多くの介護施設と市民の皆さんにそれぞれ「受入機関」や「センター」としてご登録いただきました。今回はこれまでの登録・活動状況について報告させていただきます。

引き続き、事業へのご登録ご参加をお待ちしております。



## センター事業とは?

65歳以上のシニア世代が介護施設等でレクリエーションの補助などの活動をするとポイントがたまり、静岡市の地場産品と交換できる事業です。



### センターとは

事前に登録した65歳以上の静岡市民で介護保険第1号被保険者の方

### 受入機関とは

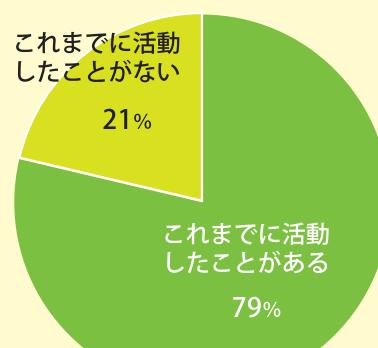
事前に登録した静岡市内の介護保険施設など

### ポイントとは

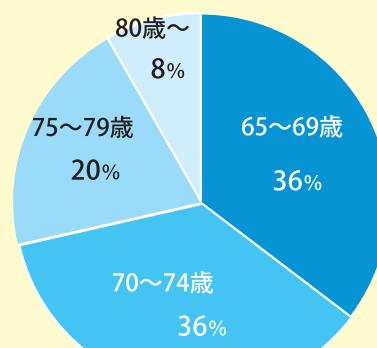
活動時間に応じて付与されるポイント  
 ◆1時間 100ポイント  
 ◆1日上限 200ポイント  
 ◆1年上限 5000ポイント

### センター活動状況

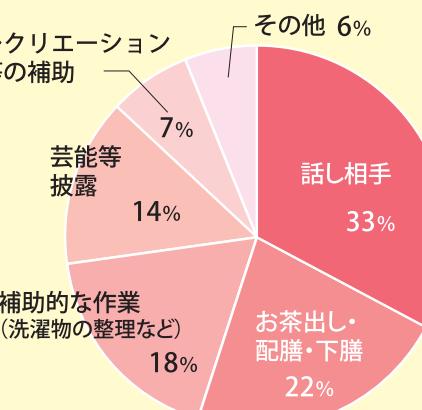
〈ボランティア活動経験の有無について〉



〈登録者の年齢区分〉



〈センター活動の実施内容〉



※平成27年11月末現在の登録データと平成27年10月末現在の活動状況を基に作成しております。

〈お問い合わせ〉 ボランティア・市民活動センター静岡 TEL.054-254-6330

## 広げよう 福祉の輪

## 地域で活動する団体のために

### 平成27年度 あいネットグループ寄付金助成

今年度もあいネットグループ様より、100万円のご寄付をいただきました。

このご寄付は、あいネットグループ創業者である故杉山茂氏が昭和52年よりご自身のお誕生日に併せて行っていたものであり、現在は会長の杉山雄吉郎氏ならびに社長の杉山茂之氏がそのご遺志を受け継ぎ、続けられています。

今回いただいたご寄付は、市内の児童育成や障がい者支援に取り組む9団体に助成金として贈呈しました。助成金は、各団体の活動に必要な物品の購入に使用されます。

今年度の助成先団体の更なるご活躍を願うとともに、地域福祉活動へご支援いただきました、あいネットグループ様に厚く御礼申し上げます。

(敬称略・順不同)

助成先	購入物品	助成先	購入物品
特定非営利活動法人カンテラ	音響機材	NPO法人かっぱらば編集室	ビジネスプロジェクト
地域活動支援センターあらんこの里	エアコン	静岡市要約筆記サークル「のぞみ」	ノートパソコン
社会福祉法人 静岡手をつなぐ育成の会 ラボール・ファーム	ステンレス製調理台	NPOはぐくむ	知育玩具
さくらの架け橋会	折りたたみリヤカー	社会福祉法人 静岡いのちの電話	パソコン
静岡市地域子育て支援センター小百合	大型絵本・紙芝居		

あいネットグループ杉山茂之 代表取締役社長(前列右から3人目)と助成先団体の皆さん



私たちは静岡市の地域福祉活動を応援しています。



### 広告を掲載しませんか?

静岡市社協では、本紙およびホームページに広告を掲載してくださる方を募集しています。興味のある方は、ぜひお申し込みください。

[資料請求・申込み・問合せ]  
静岡市社会福祉協議会 総務課  
TEL.054-254-5213 / FAX.054-252-2420

「みんなの社協しづおか」は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。